

すいか倶楽部の皆様へ

すいか情報

JA 佐渡営農事業部園芸振興課

《集出荷販売状況について》

本年は6月の低温により着果が若干遅れましたが、その後の好天により順調に出荷されています。

全国的に高温でスイカの引き合いが強く単価高となっており、佐渡中央青果市場での仕切り単価も昨年同時期対比 **112% (小玉)** となっています。

また、一部炭そ病の発生が見られる園地がありますので、今後天気の状態を見ながら定期的に防除を実施し、摘果・枝抜きをした場合は圃場外へ持ち出しましょう。

《高温対策を実施してください！！》

新潟地方气象台から7月19日14時30分に発表された「北陸地方1か月予報」によると、8月20日までの向こう1か月の平均気温は、高い確率が70%となっています。

しばらく気温が高い状態が続くと予想されることから、今後の気象変動に十分留意し、管理対策の徹底をお願いします。

①病害虫防除

- ・高温、乾燥が続くとハダニ類等の発生が多くなるので、発生状況に応じて防除する。
- ・薬剤散布は、朝夕の涼しい時間帯に実施する。高温時は、薬害の発生を助長する恐れがあるので実施しない。

②栽培管理

- ・草勢が低下しないように定期的にかん水する。畝間かん水する場合は、根腐れを避けるため長時間滞水しないようにする。
- ・すでに草勢が弱っている場合は、「肉質劣変果」の発生が懸念されるため、収穫前には必ず試し切りを行い、品質を確認する。
- ・高温により日焼け果の発生が懸念されるため、ワラやつるなどで覆う。



《台風対策について》

8月以降台風が接近する時期となりますので、対策を実施しましょう。

①事前対策

- ・露地ほ場や施設周辺の排水路等の点検と、明きょ等による排水路の確保に努める。

②事後対策

- ・草勢回復のため、葉面散布や液肥等による追肥を行う。
- ・露地の果菜類は、降雨が続いた後の強い日射により果実の日焼けや草勢の低下が懸念されるため、すいかではワラ等で果実を被覆して日焼け防止に努める。

＜熱中症を防止するため、農作業は気温の高い時間帯を避けるとともに、水分補給をこまめに行うなど十分注意してください。＞